



OWASP FOUNDATION PRESENTS

APPSEC APAC

MARCH 17 - 20, 2014

TOKYO, JAPAN

<https://appsecapac.org/2014> (日本語サイト)

<https://www.owasp.org/index.php/AppSecAsiaPac2014> (英語ページ)

The OWASP Foundation



The Open Web Application Security Projectは、ウェブアプリケーションセキュリティをとりまく課題を解決することを目的とする、国際的なオープン・コミュニティです。

- ・ 企業や国境の壁を超えた、あらゆる専門知識と経験を持ったスペシャリスト、ならびにユーザとのコラボレーションにより、自由に参加できるオープンな活動を展開しています。
- ・ 同組織は、2001年に設立され、2004年4月21日よりアメリカ合衆国にて政府認定NPOとして組織運営しています。現在、全世界に120以上の個別テーマのプロジェクト、さらに、日本(2012年より)を含め200拠点にチャプター(支部)があります。OWASPは、企業会員制度、スポンサーシップ、個人会員制度による寄付などによって成り立っています。
- ・ OWASPの成果物として数多く公開されているセキュリティ関連ガイドラン、ツールなどは、現在のOWASP Japanのコアメンバーを含む、ボランティアたちによる日本語版の公開により、日本での政府関連機関のガイドラインやIT事業者、またセキュリティ専門事業者からも参照され、活用されてきました。
- ・ 現在、セキュリティ専門やIT専門事業者のみならず、サービス事業者、金融関連企業、また製造業、製薬・医療関連メーカーなどがこの組織の成果を活用しています。また、最大シェアでのウェブサーバApacheのセキュリティ機能にOWASPの成果が組み込まれているなど、間接的活用も広がっています。

OWASP Projects



**OWASPのフラグシップ・プロジェクトは、日本でも多くの技術者が活用しています。
さらに、プロジェクト立案・参画においても進展しており、今後の知見の共有が期待されます。**

コード・プロジェクト

- **OWASP ModSecurity Core Rule Set Project**
- OWASP AntiSamy Project
- OWASP Enterprise Security API
- OWASP CSRFGuard Project

ツール

- **OWASP Zed Attack Proxy**
- OWASP Web Testing Environment Project
- OWASP WebGoat Project

ドキュメンテーション

- **OWASP Top Ten Project (2013 version released)**
- OWASP Application Security Verification Standard Project
- OWASP Code Review Guide Project
- OWASP Codes of Conduct
- OWASP Development Guide Project
- OWASP Secure Coding Practices – Quick Reference Guide
- OWASP Software Assurance Maturity Model (SAMM)
- OWASP Testing Guide Project

https://www.owasp.org/index.php/Category:OWASP_Project

OWASP Japanの活動



“強くしなやかなインターネット社会の構築の担い手をもっと必要です。”

2011年の大震災以降数多く見られたプライバシーを扱う復興支援サイトの状況、数々の企業・サービスのセキュリティ被害を鑑みると、この問題に取り組むことが急務であることは明らかなです。構築、レビュー、運営、ガバナンスの視点で、オープンなセキュリティ技術の啓蒙と知見のグローバルな共有を促進するため、2011年にOWASP Japanが発足することになりました。

2012年以降、3ヶ月に一度の定期的なミーティングやイベントの参画により、2013年11月までに、のべ2,000名もの人材が参加しています。参加者には、開発者、研究者、企業の情報ガバナンス担当者、マーケティング関係者などウェブに関係する幅広い人々がいます。国内外からこぞって講師が来日し、ボランティアで参加しています。また、ご賛同いただける企業から会場提供等のご支援を頂いています。



“OWASP Night” Meeting

OWASP Global AppSec



OWASP Global AppSecは、ソフトウェアセキュリティに関する国際的なカンファレンスです。OWASP Foundationは、年に4回、世界の幅広い地域でGlobal AppSecを主催しています。

AppSecカンファレンスは、ソフトウェア技術の関係者、監査人、リスクマネージャ、研究者、アントレプレナー、最先端の実践者とともに、ウェブのセキュリティを高めることにつながる最新の調査研究や、最新の知見を共有することを目的としています。

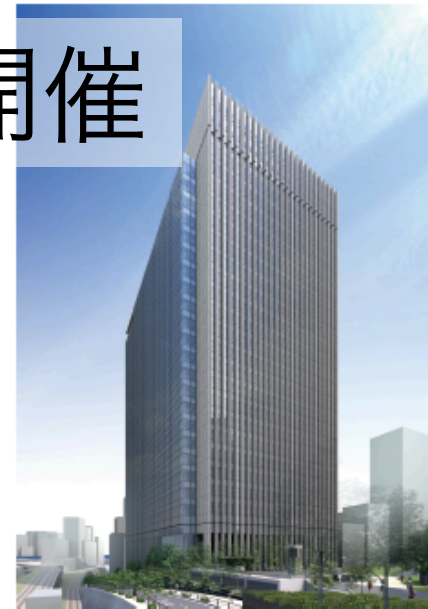
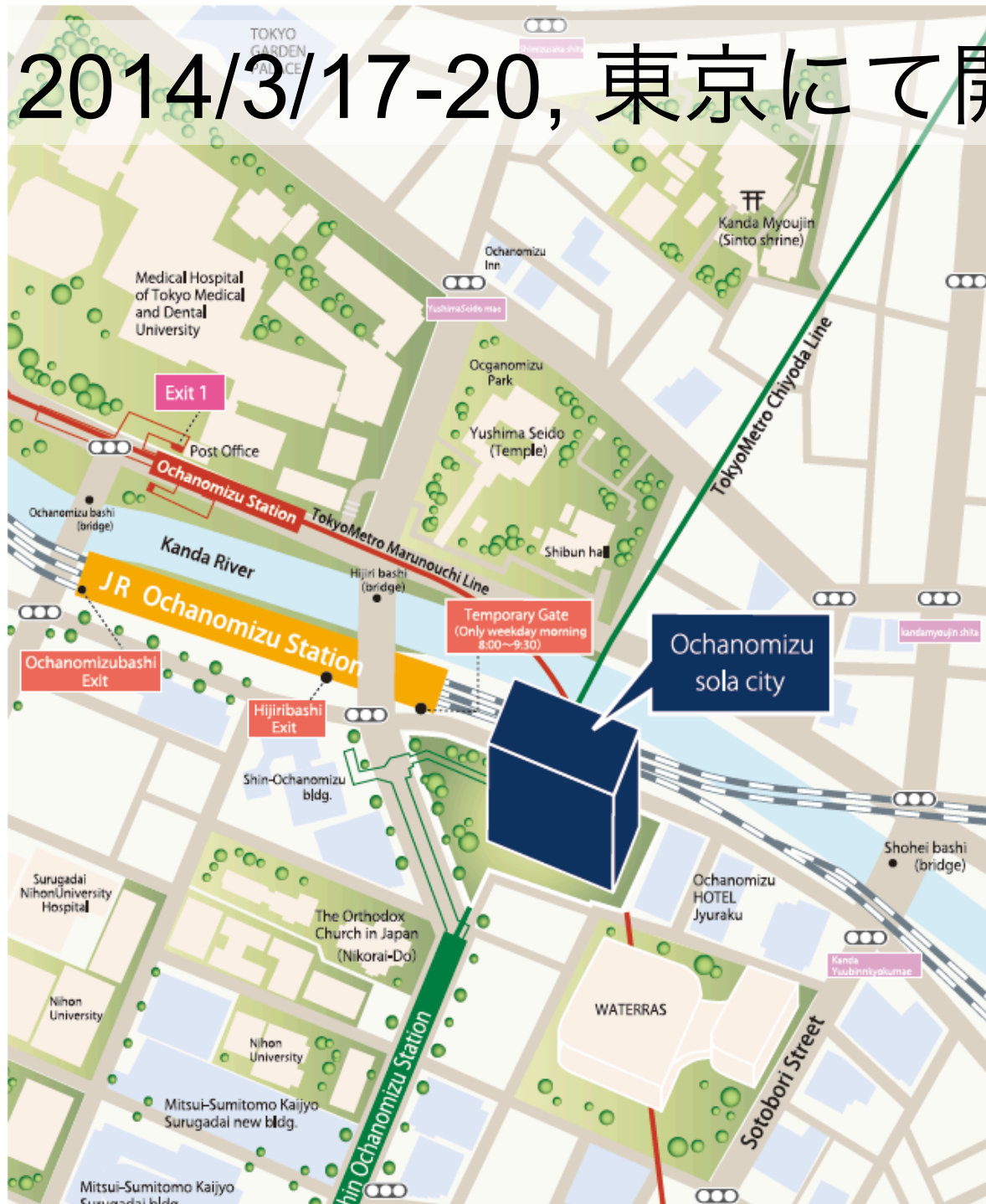
2013年は、韓国チェジュ島(アジア・パシフィックエリア)、ミュンヘン(ヨーロッパ)、ペルー(南米エリア)で開催されました。11月のニューヨーク(北米エリア)でのカンファレンスの次に来るものとして、OWASP Japanボードメンバーは、発足後まだ1年しかたっていないものの、OWASP史上初めて、**東京での開催**についてのプロポーザルを提出し、まさに実現することとなりました。

2013年は、日本でも注目の高い、OWASP Top 10 という「ウェブ脆弱性対策トップテン」がリニューアルされました。この時期に日本でAppSecを開催することには、大きな期待が寄せられています。

- コンシューマ市場では、モバイル対応、スマートフォンをとりまくプライバシーやセキュリティに関心が高まっています。
- 政府・自治体など行政機関、金融、医療、物流など幅広い業界で安全なソフトウェアの強いニーズが認識されてきています。
- インターネット依存が高まる一方、漏洩被害につながる事件が多発しており、多くの技術者、企画者のみならず、かつてないほどのサービス開発社、またそのユーザがこの問題に注目が集まっています。
- 技術面、社会面でこの問題を解決できる具体的な手段を持つことは、今後の日本の、また世界のIT社会にとって極めて重要な意味を持ちます。OWASP Japanのミーティングにわずか2年足らずで2000名もの方が集まっていることから明らかです。

日本でのAppSec APACは、世界から日本に、また日本から世界に向けて、業界の最新の動向をシェアし、技術実装のノウハウや知見について共有する機会となります。

2014/3/17-20, 東京にて開催



sola city Conference Center

4-6 Kandasurugadai, Chiyoda-ku, Tokyo. 101-0062

Ochanomizu sola city

Phone : 03-6206-4855 Fax : 03-6206-4854

mail : info-cc@solacity.jp

-
- ◆ sola city Hall ...2F
 - ◆ Terrace Room ...2F
 - ◆ Room A, B, C, D ...1F
 - ◆ Conference Center Office ...1F
-

Keynote Speakers



山口 英 Suguru Yamaguchi

奈良先端科学技術大学院大学教授。元日本政府内閣官房情報セキュリティ対策推進室情報セキュリティ補佐官。

2004年から2010年まで、日本政府内閣官房情報セキュリティ対策推進室（現内閣官房情報セキュリティセンター）情報セキュリティ補佐官に任命され、内閣官房情報セキュリティセンター（NISC）の設立に関わる政府の情報セキュリティ基本計画の設計と実装に携わった。

インターネットの発展とネットワークのセキュリティのために多くの貢献がある。1996年、日本で最初の国のCSIRTであるJPCERT/CCを設立し、役員を務める。2002年に設立された、アジア・太平洋地域におけるCSIRTの地域フォーラムであるAPCERT.orgの創設者の一人だった。2011年から、彼はFIRST（インシデントレスポンスとセキュリティチームのフォーラム）の運営委員会のメンバーに任命されている。



デイブ・ウィッチャーズ Dave Wichers

デイブ・ウィッチャーズはアスペクトセキュリティの共同創設者であり、COOを務める。同社は、アプリケーションセキュリティサービスに特化した専門企業である。彼はOWASPボードメンバーとしての長い貢献があり、OWASP Top 10執筆者である。

彼は情報セキュリティ分野で25年の経験があり、1998年よりアプリケーションセキュリティにフォーカスしている。アスペクトセキュリティ社では、COOとして、セキュリティコースウェアを率いており、またチーフインストラクターであり、アプリケーションセキュリティコンサルティングを数々の分野において提供してきた。

アスペクトセキュリティ社の前には、エクソダスコミュニケーションのアプリケーションセキュリティサービスグループにいた。専門はコンピュータサイエンス。CISSP。



マイケル・コーツ Michael Coates

マイケル・コーツ（Michael Coates）はウェブアプリケーションセキュリティをとりまく課題を解決することを目的とする、国際的なオープンなコミュニティを統括するNPO「OWASP」の会長である。また、攻撃のリアルタイム検出と対応可能範囲の拡大に役立つ攻撃可視化アプリケーションの開発に特化したプロジェクト「OWASP AppSensor」の設立者でもある。

また、最新の攻撃からウェブサイトを防御する斬新なウェブセキュリティ製品を開発するシリコンバレーのベンチャー企業Shape Security社のプロダクトセキュリティディレクターを務める。以前は、Mozillaのセキュリティアシュアランスディレクターとしてセキュリティアシュアランスとウェブセキュリティのプログラム設立者であり、25名のチームまで成長させた。

彼のこれまでのキャリアでは、大手企業や政府機関に対するアドバイザとして安全なアーキテクチャやソフトウェアセキュリティについてコンサルティングに従事してきた。また、何百もの技術的なセキュリティアセスメントを、金融機関や移動体通信業者に対して実施してきた。マイケルのブログはこちら：michael-coates.blogspot.com

ド・ポール大学において、コンピューター、情報、ならびにネットワークセキュリティのM.Sc.を取得。イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校のコンピューターサイエンスのB.Sc.を取得。

AppSec Apacは、ウェブ・セキュリティについて、世界から日本に、また日本から世界に向けて、業界の最新の動向をシェアし、技術実装のノウハウや知見について共有できる機会となります。

OWASPの活動はさまざまな業種・業態の企業に支えられています。



OWASPアカデミックサポーターは 安全なソフトウェア教育を推進しています。



OWASP AppSec Apac スポンサーシップをご検討ください。



IT・セキュリティのプロフェッショナル企業や組織のスポンサーメリット：

プロフェッショナル人材育成における最新技術動向教育機会となります。

- 最新のソフトウェア・セキュリティ技術動向の把握による御社の戦略検討の機会となります。
- セキュリティ業界の最新動向の把握による営業展開の戦略に資する情報共有機会
- プロフェッショナル人材とのネットワーキングと雇用機会拡大
- 高い要件を持つユーザーとのダイレクト・コミュニケーションの機会
- プロフェッショナル・ビジネス展開企業としてのブランディングの機会

インターネット基軸のビジネスを展開する企業や組織のスポンサーメリット：

サービスの国際的認知の向上とビジネス・ネットワークの構築機会となります。

- 最新のソフトウェア・セキュリティ技術動向の把握による御社の戦略検討の機会となります。
- サービス展開上必要なリスク動向の把握によるサービス展開の戦略に資する情報共有機会
- 安全・安心できるサービスを展開する企業によるネットワーク社会への貢献機会
- 高い要件を持つユーザーとのダイレクト・コミュニケーションの機会
- ハイレベルの技術実装を志向しているサービス企業としてのブランディングの機会

プロフェッショナル技術を高く評価する企業としての、日本・アジアパシフィックエリアのみならず、欧米を含む国際的認知の向上のまたとない機会となります。国内でさらに継続・展開が進む、OWASPの活動の礎を担う企業となります。

OWASP AppSec Apac 2014, Tokyo スポンサーにご参画ください。

Premium Sponsorship menu

プレミアムスポンサーメニュー

| 解説 | Diamond (SOLD OUT) | Platinum (SOLD OUT) | Gold (SOLD OUT) | Silver (10社程度) |
|--------------------------------------|---|------------------------|--------------------|-------------------|
| スポンサー費用 | 140万円 | 90万円 | 60万円 | 30万円 |
| OWASP企業会員価格 | OWASPスポンサー企業への割引価格です。 105万円 | 67万5千円 | 45万円 | 22万5千円 |
| 展示スペース | 展示スペースとなるホール付近ならびにテラスルームではコーヒーマシーン等を行います。 最優先の位置 | 二次優先 | 可能 | - |
| OWASPグローバルAppSecApacサイトへのロゴ掲載 | OWASP AppSecApac 2014サイトは資料の公開などにも継続的に用いられます。 最優先の位置 | 二次優先 | 三位スペースに掲載 | 掲載 |
| コンファレンス配布物へのロゴ掲載 | 来場者への配布パンフレットに掲載します。 掲載 | 掲載 | 掲載 | 掲載 |
| カタログ配布 | 御社のカタログなどを来場者・関係者に配布します。 ○ + ノベルティ配布 | 実施 | 実施 | 実施 |
| メディアPRへの露出 | 報道機関などからの取材時にスポンサーを紹介します。 最優先の位置 | 二次優先 | 三次優先 | 実施 |
| コンファレンス会場玄関での掲載 | コンファレンス入り口などに配置するオブジェなどにロゴを含めます。 最優先の位置 | 二次優先 | - | - |
| コンファレンスホール命名権 | ホールのひとつに御社名あるいは御社ブランド名をつけ、ホール名としてアナウンスします。 1つを含む | | | |
| コンファレンス配布物への広告掲載 | コンファレンス配布物に御社の広告データを掲載できるスペースを提供します。 フルページ | 1/3ページ | 1/8ページ | 1/10ページ |
| コンファレンス参加パス | コンファレンスそのものへの参加権を提供します。 15枚 (懇親会: 4名分) | 8枚 (懇親会: 3名分) | 4枚 (懇親会: 2名分) | 2枚 (懇親会: 1名分) |
| アラカルト・スポンサーメニュー(次項)の割引率 | アラカルトスポンサーメニューを追加選択する場合の割引を提供します。 25% OFF | 20% OFF | 15% OFF | 10% OFF |

A La Carte Sponsorship Opportunities

アラカルト

| アラカルトメニュー | 解説 | 費用 |
|--|--|--|
| 懇親会スポンサー (1社) SOLD OUT | 公式のコンファレンス・ネットワーキングイベントの命名権です。およそ2時間のこのイベントでは、キーノートスピーカー、OWASPメンバーを囲んで実施します。懇親会スポンサーとして明示します。 | 50万円 |
| 通訳提供スポンサー (5社) | 国際カンファレンスとして、日本語・英語の同時通訳が必要です。また、トレーニングデーにおいても通訳が必要なセッションがあります。このスポンサーシップにより可能になったセッションで、その通訳が御社によるご提供であることを放送・表示などにより告知します。 | 40万円 |
| ランチスポンサー (2社) | このスポンサーシップにより、来場者へのランチボックスを提供します。(通常は、ランチ提供はありません) | 40万円 |
| コーヒーブレイクスポンサー (3社) | コーヒーブレイクは一日に2回、2日間で4回行われます。このスポンサーであることは会場で振る舞われるコーヒースタンドで明示します。 | 20万円 |
| Women In AppSec スポンサー (1社) | Women In AppSec は、少なくとも1名の女性の応募者のカンファレンス参加費用、トレーニング参加費用、およびその旅行費用を負担するものです。このプログラムのスポンサーはロゴの表記などを通し、ウェブサイトとこのイベントにおいて明確に示されます。 | 30万円 |
| Students In AppSec スポンサー SOLD OUT | Students In AppSec は、少なくとも4名の学生のカンファレンス参加費用、およびその旅行費用を負担するものです。このプログラムのスポンサーはロゴの表記などを通し、ウェブサイトとこのイベントにおいて明確に示されます。 | 30万円 ※費用のお支払いに替り、実際の費用を直接ご負担いただくことも歓迎しています。 |
| コンファレンス・アトラクションホール命名権 | これは、いずれかのスポンサーにのみ提供されます。カンファレンスやアトラクション (Open Micなど) が行われるホールや部屋の命名権を提供します。 | 10万円 |



OWASP FOUNDATION PRESENTS
APPSEC APAC
MARCH 17 - 20, 2014
TOKYO, JAPAN

本件に関するお問い合わせ・スポンサーシップ申込書について：

OWASP Japan事務局
OWASP Global AppSec Apac 2014実行委員会
appsecapac2014@owaspjapan.org
担当：福本、岡田

The OWASP Foundation
担当: Kelly Santalucia, Laura Grau